

## 巻頭言

仙台市病院事業管理者 仙台市立病院院長 亀山元信

仙台市立病院医学雑誌第37巻が電子版として刊行される運びとなりました。本号には原著、症例報告、コ・メディカルレポートをはじめ、昨年に発表された著書・論文リスト、学会発表、院内剖検記録、等々が掲載されています。日常業務が多忙な中で論文作成に取り組みられた方々、編集作業を担当された長沼編集委員長をはじめ編集委員の皆様の御努力に敬意を表します。

1966年 Donabedian<sup>1)</sup>は医療の質を評価する指標として、医療のストラクチャー（構造）、プロセス（過程）、アウトカム（結果、成果）を提唱しました。本年度はこの医療の質評価に関する第三者評価を様々な視点から頂く年となります。6月には東北厚生局適時調査受審がありました。これは主に医療制度上の施設要件の精査に重点を置いたものであり、医療の質評価の観点からはストラクチャーの評価に相当します。また、7月には外部監査法人による包括監査を2日間に渡って受審しました。これは質の高い医療を提供するためには、適正な経営管理基盤の構築と経営効率の改善が必要であるという観点から様々な財務分析を行うもので、医療の質評価の面ではストラクチャーとプロセスの基礎となる部分と考えます。

そして、本年11月には日本医療評価機構による病院機能評価を受審の予定でおります。病院機能評価の目的は、病院が機能的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が適切に実施されているか否かの評価を行い、その結果明らかとなった課題に対して、病院が改善に取り組むことで、医療の質向上を図ろうとするものです。最近の病院機能評価では個々の症例におけるプロセスが重点的に評価され（症例トレース型ケアプロセス）、特に多職種によるチーム診療・ケアの実践が重視されています。

第三者機関による病院評価は、評価を受ける事それ自体が目的ではなく、「自分達の病院をより良くするためにはどうすれば良いのか？」を常に考え、皆で検討し実現していく営みを繰り返していく中での一助であると考えています。日々の診療業務の中で経験した事、また疑問に感じたことを一編の論文やレポートに纏め、仙台市立病院医学雑誌に投稿することも、医療の質向上に大きく貢献するものと確信しております。

1) Donabedian A: Evaluating the quality of medical care. Milbank Memorial Fund Quarterly 44: 163-203, 1966